

新しがや

2021年6月27日 No.1371
日本共産党越谷市委員会

越谷市花田1-11-15

電話 962-9595

留守の時 988-7001



これから検討では間に合わない 計画に保護者・住民の声を反映を

「保育環境を考える市民の会」は6月17日、中央・大沢第一保育所で保護者に（仮称）緑の森公園保育所の建設問題に関する、アンケートを記載したチラシを配布しました。

寄せられた意見では、「自宅からも駅からも遠くなるので困る」「送迎時の

混雑も心配」「園庭が狭くなるのは残念」「子どもたちを一人ひとり把握できるのか疑問」「もっと早く移転の情報を知っていたら、入園希望を出さなかった。同じ園に通えないのなら保育園の通園時間も増えるので朝の労力が増える」など、寄せられました。

市はこれらの疑問や不安の声に答える必要があります。

議会で切実な声届ける

党市議団は6月議会の一般質問で、送迎時の混乱や園庭が狭いことについて指摘し、保護者・近隣住民の声を聞き、計画を見直すように要望しました。

市長は、「これから基本設計の中で検討していく。基本

設計ができる前に保護者・住民の声を聞く」と答弁しました。しかしこれでは順番が違います。設計に住民の声を反映するのは当然ですが、計画段階で住民の声を反映させるべきで、そもその計画のすすめ方が間違っています。

建設計画は見直しを

（仮称）緑の森公園保育所は、来年6月から建設が始まります。基本設計は今年10月には完成します。これから住民の声を聞くのでは市の対応が遅すぎます。

同会は、近隣住民向けにもチラシを配布し、アンケートを募集しています。

こうした保護者・近隣住民の意見を市に届け、（仮称）緑の森公園保育所の建設計画の見直しを引き続き要望していきます。

6月議会

小中一貫校にかかわる補正予算に反対

保護者・住民に説明ないまま民間に丸投げ

6月議会にて提案された補正予算の中に、小中一貫校整備にかかわる「アドバイザリー業務委託料」が計上されました。

これはPFI方式という名の、「学校整備からその後の維持・管理まですべて民間丸投げ」を前提にした、業者発注の準備です。

学校の整備について市民は、従来どおり公設公営と考えているところが当然です。そこに不意打ちのように民間丸投げを市だけで決める、予算化まで決めることは決して許されません。この説明不足で不

要不急の事業に対し、財政調整基金を取り崩して財源とすることも、市民の理解は得られません。

党市議団は①PFI方式による民間丸投げ②財源が財政調整基金③保護者・市民への説明があまりに不十分、の3点を指摘し反対しました。

「再生可能エネルギー主力電源化の実現を求め

る意見書」賛成多数で採択

温室効果ガスの排出による気候危機が深刻化しているなか、市民団体から「再生可能エネルギー主力電源化の実現に向け国への意見書提出を求め」の請願が提出され、党市議団も紹介議員となり、採択に力を尽くしました。

委員会審査で党市議団は「国の責任で再生エネ推進によりコストダウンなどを実現していくべき」などと主張し、論戦をリード。また賛成討論では、「越谷でも豪雨災害などが発生している。日本は欧米と足並みをそろえて石炭火力をやめ再生エネに転換するべき」と訴えました。意見書は国に対し①第6次エネルギー基本計画において、再生可能エネルギーの割合を大幅に引き上げること②そのために脱炭素社会に向けて、「政策転換を早急にすすめること」を求めています。

地域公共交通計画のパブリックコメント募集中

公共交通についてのパブリックコメントがこなわれています。

- ・期間

6月30日（水）まで

- ・応募方法

所定の意見用紙に必要事項を記入し、各地区センターなどで意見箱へ。メールや郵送（消印有効）も可。

- ・問い合わせ先

都市計画課

963-9221 まで

子どもの権利条例 制定など求める

宮川まさゆき議員の
一般質問

一般質問

等で子どもの権利が守られていない、市自治基本条例では子どもの意見の尊重や参画を促進

越谷市には小中一貫している」と答弁。し

校構想や、保育所統廃合など、子どもにかかわる施策に子どもの声を取り入れる姿勢が不足しています。子どもにかかわる施策は構想の段階で子どもの意見を反映させるよう①子どもがまちについての決定に影響を及ぼせる②自分たちが望むまじのあり方について子どもが意見を表明でき、ことなど子どもの権利条約にもとづいた「子ども権利条例」を制定するよう市に求めました。

また、報酬改定の影響で事業困難な放課後等デイサービスへの事業所支援について、利用者や家族の実態、事業者の現状を示し、財政支援など市独自の支援を求めました。

PCR検査 拡充を提案し実現

山田大助議員の
一般質問

一般質問

系・訪問系の高齢者・障がい者施設での検査を提案しました。

新型コロナウイルス感染症は、越谷市でも高齢者のワクチン接種がすすんでいます。しかし64歳以下の接種の見通しはついていません。集団免疫の獲得までは、まだ時間がかかります。速やかなワクチン接種とあわせて、PCR検査の拡充で無症状者を特定し集団感染を抑えることや、医療機関・従事者への十分な支援、自粛にもなう中小業者の営業への補償などが、このPCR検査拡充の一環として、通所

越谷市ではすでに高齢者・障がい者の入所施設では、従事者と新規入所者に検査をしています。通所系・訪問系事業所では検査していません。これらの施設の関係者から、多くの要望が寄せられていました。

市長は、通所系施設の従事者に対するPCR検査について、「準備をすすめる」と答弁。6月議会最終日に国の交付金を活用した追加の補正予算として「通所系従事者へのPCR検査」が提案され、全会一致で可決・実現しました。

～ topics ～

社会保障推進協議会キャラバン

6月23日、中央市民会館で社保協キャラバンが開かれました。



比例北関東ブロック宣伝

6月21日、新越谷駅で梅村さえこ前衆院議員が政策宣伝。



さようなら原発越谷連絡会が総会

6月19日、さようなら原発越谷連絡会の総会が開かれ、柳田真氏による記念講演（写真左）がおこなわれました。前日の18日には毎月恒例の第3金曜行動（写真右）がおこなわれました。



お知らせ

◆国民平和大行進

日時 7月4日(日)

午前8時30分～

場所 越谷駅

◆原水協6・9宣伝

日時 7月6日(火)

午後5時30分～

場所 せんげん台駅

◆共同センター9の日宣伝

日時 7月9日(金)

午後5時30分～

場所 新越谷駅

◆映画「時の行路」上映会

日時 7月18日(日)

①午前10時30分

②午後1時30分

③午後4時20分

※3回上映

場所 中央市民会館劇場